

校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

No.51

令和2年11月1日 文責 校長 林 寛



8月25日から始まった2学期も、折り返しを過ぎました。幸い新型コロナウイルス感染症による学校生活への影響は今のところ少なく、過ごしやすい気候の中で「勉強の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」等に励むことができます。手洗い・うがいを心がけ、3密を避けるという新しい生活様式を、子供たちは自然に受け入れているなど感じます。大人も負けないようにしながら、2学期の残りを安全・安心な学校で子供たちの成長を支えていきたいと考えています。

福祉体験 4年生



4年生は、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマにした学習に取り組んでいます。10月29日（木）は車いすについて、10月30日（金）には盲導犬について、それぞれゲストティーチャーを招いて講話をしていただき、そのあと体験活動をしました。



↑電動車いすでの生活について話をいただいた芹田洋志（せりたひろし）先生



↑盲導犬との生活について話をいただいた蓮尾和敏（はすおかずとし）先生とティー号

障害のある方の話を直接聞くことが初めてだった子供も多かったと思いますが、真剣に話を聞き、疑問に思ったことをたくさん質問していた4年生たちは、その後の体験活動でも、車いすを使っている方や目の不自由な方の苦労や大変さをしっかり感じていました。

この学習をきっかけに、体の不自由な方や困っている方を見たときに手伝ったり、声をかけたりすることができるようになればいいと思います。目の不自由さを体験するために、アイマスク体験に私も参加させてもらいましたが、体育館を1周するだけなのに緊張でどっと疲れしました。私をサポートしてくれた1組のHKさんの「校長先生、ゆっくりいいですよ」「階段はあと1段ですよ」という声かけが神様の声に聞こえました。講師の先生の紹介や、体験活動の実施などについて、吉野ヶ里町社会福祉協議会の皆様にたくさんサポートして

いただき、貴重な時間になりました。ありがとうございました。

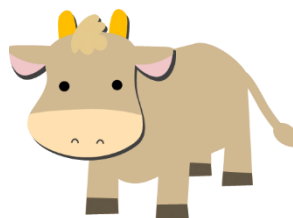


車いす体験 →

←アイマスク体験

給食に佐賀牛登場

献立表や学校ホームページでも紹介していましたが、10月の給食には2回、佐賀県産和牛肉を使ったメニューが登場しました。これは、佐賀県の「食べて応援、佐賀牛学校給食提供事業」で、学校給食に無償提供された牛肉です。10/2は牛丼、10/30はピビンパでしたが、温かいご飯と一緒に美味しくいただきました。いつもより、お代わりをする子供もたくさんいたようです。



11月1日（日）

県下一斉 ノーテレビ・ノーゲームデー

東脊振小学校学校

ホームページは



こちら⇒



引き続き、毎朝の登校前の健康観察と検温をお願いします。